

テーマ	学校における危機管理上の課題		
講習内容	緊急事態が発生した際に、人は何を感じ、どう考え、どんな行動をとるのか。また、避難場所に指定されている多くの学校では、地域社会の中でどのような機能を果たすことが期待され、それに応えることができるのか。情報セキュリティの観点から教員に求められることも含め、防災教育を再度考え、今後の方向性を考えてみたい。		
科目区分	選択必修領域	対 象	全教諭、養護教諭、栄養教諭
担 当	細田 聡（本学 社会学部 教授）	キャンパス	金沢八景キャンパス
講習期間	2019年8月6日（火）	講習時間	6時間
授業形態	対面授業	試験方法	筆記試験

時間割	講時	時間	内容
	オリエンテーション	8:55 9:00	・講習中の諸注意、大学各施設についてや当日の流れ等をご説明します
	1 講時	9:00 10:30	緊急事態での人間特性 緊急時に、人は何を感じ、どのように判断し、どんな行動をする特性を有しているのか、その基本的なメカニズムについて省察する。
	2 講時	10:45 12:15	学校における危機管理とリスク管理 過去の事例をいくつか紹介し教訓を得るとともに、緊急事態の発生時のみならず事前事後の危機管理やリスク管理を検討し、未然防止および再発防止策について考慮すべきポイントを討論する。
	3 講時	13:15 14:45	地域連携とリスクコミュニケーション セキュリティとセーフティの相違を知るとともに、情報化社会の脆弱性への対応や、“いざ”というときのための学校と地域社会の連携やリスクコミュニケーションについて考える。
	4 講時	15:00 16:30	総括と筆記試験 ・質疑応答および、分かち合い ・筆記試験
	伝達事項	16:30 16:40	・今後の修了書送付までの流れ等をご説明します ・事後アンケート →ご提出いただいた方から講習終了となります
	備考		